



山王台だより7・8月号

令和8年6月30日
横浜市立山王台小学校
〒235-0016
横浜市磯子区磯子5丁目2-1
TEL 045 (755) 1107

【学校教育目標】 認め合い 学び合い 高め合う子

つながる世界 ひろがる学び

副校長 武石 博行

この夏、サッカーワールドカップの開催により、世界中が大きな盛り上がりを見せています。特に日本代表の試合となると、応援にも一層熱が入っているご家庭も多いことと思います。国や地域を越え、同じボールを追いかける選手たちの姿や、それを応援する人々の思いに触れると、スポーツがもつ力、そして国と国とをつなぐ交流の大切さをあらためて感じます。私たちにとって遠く感じられる国々も、こうした機会を通して身近に感じられるのではないのでしょうか。

本校では、6月に神奈川韓国総合教育院の方々による「韓国ふれあい文化教室」を実施し、子どもたちが韓国の文化に触れる貴重な機会となりました。全学年で韓国語での挨拶や韓国語で名前を書く活動に取り組みました。

さらに、1・2年生は、人形を使った読み聞かせや手遊び歌などを体験しました。4年生はチャング、ユンノリといった伝統文化、ハンボクの折り紙から自分で選択して取り組みました。5・6年生は韓国語での自己紹介に加え、テコンドウや K-POP のダンスなど、体を動かしながら文化に親しみました。

子どもたちの感想の中から一部を紹介します。「韓国語で自分の名前が書けたから嬉しかった。おうちでもやってみたい。(1年生)」「チマチョゴリが折り紙でできると知って友達にも教えたい。(4年生)」「K-POP を学んでから、ダンスが楽しいことに気がしました。ダンスは疲れますが、踊れたときの達成感が分かりました。家でもダンスの練習をしたいです。(6年生)」など、新しい文化との出会いに心を動かし、さらに学びを深めようとする姿が見られました。

3年生は5月に社会科の学習で神奈川韓国総合教育院を訪れ、施設の説明や体験できる内容などを紹介していただきました。そこでの出会いや学びがさらに理解を深めるきっかけとなり、1月に予定している民族衣装や遊びを通した文化交流へとつながっていきます。

異なる文化に触れることは、知識を広げるだけでなく、自分たちの文化を見つめ直すことにもつながります。ワールドカップで各国がそれぞれのよさを発揮し合っているように、私たちも日本のよさを大切にしながら、他国の文化を理解し尊重できる子どもたちを育てていきたいと考えています。これからも様々な交流を通して、広い視野と豊かな心を育てていきます。